

七高SSH通信

\\石川県立七尾高等学校SSH推進室//

R4/10/21
令和4年度
第10号

SSHサイエンスツアー

10月11日(火)～13日(木)にかけて、1年生理数科を対象に、サイエンスツアーを実施しました。サイエンスツアーは、最先端科学の現状を理解し、科学に対する研究意欲を高めることを目的として「本物に触れ、一流の研究者に学ぶ」というスローガンのもと、毎年この時期に2泊3日の日程で実施しています。研修内容は幅広い分野にわたっており、普段、学校では学ぶことのできない事柄について、研究者の方からお話を聞くことで多くの知識を得ることができました。

1日目 東京大学素粒子物理国際研究センターの飯山先生から「宇宙の成り立ちとその調べ方」の講義を受けました。素粒子物理学の基本について、わかりやすい授業で生徒たちは興味深げに聞いていました。飯山先生の講義の後、2班に分かれて、センターの大学院生室等とサイエンスギャラリーを見学しました。サイエンスギャラリーには小柴先生、梶田先生などノーベル受賞者の研究をはじめ、東京大学の研究の歴史に触れることができました。



2日目 午前中は、全員で地質標本館と(国)宇宙航空研究開発機構(JAXA)の筑波宇宙センターに行ってきました。地質標本館では地球の起源、日本の地質や関東平野について学びました。JAXAでは国際宇宙ステーションや衛星のレプリカを見学しました。午後からはつくば市内の物質・材料研究機構、食と農の科学館、バイオリソースセンター、KEKコミュニケーションプラザ(高エネルギー加速器研究機構)の4ヶ所にわかれ、グループ研修を行いました。



3日目 埼玉県和光市にある理化学研究所で研修を行いました。理化学研究所の環境資源科学研究センター専任研究員の島氏の講義を聞いた後2班に分かれ、A班は仁科加速器科学研究センターの地下にある世界最大の超電導リングサイクロトロンを見学、B班は脳神経科学研究センターで講義後、ゼブラフィッシュ飼育施設を見学しました。その後、さいたま市にある鉄道博物館を見学後、新幹線を使って七尾へ帰ってきました。生徒たちは本物の最先端科学について学び、充実した時間を過ごしました。



宿舎にて東京大学卒業後、筑波大学大学院へ進学した理数科の先輩と交流しました。(1日目夜)

レポート作成・添削(1日目・2日目夜)

つくば研究学園都市

物質・材料研究機構

バイオリソースセンター

食と農の科学館

KEK(高エネルギー加速器研究機構)

〇研修先のほとんどが初めて行く場所で、このサイエンスツアーがなければ、知らなかったであろう組織も多くあった。その分、学べたことも多く良い経験になった。

〇先輩や研修先の研究員の方々が共通して言っていた「そのとき興味のあることを突き詰めて今に繋がっている」というのが印象的だった。興味や関心のあることの探求もしていければなおもった。

〇どこの研究所でも学校で習っていることの延長にあって面白いと思った。

☆生徒の感想☆